

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

農地の畦や休耕地などの野焼の立ち上る煙が、春の訪れを感じさせる。リンゴ・桃・ブドウなどの果樹の剪定や既に野菜苗の定植が

始まった現場を見る時、異常気象のない年であってほしいと願ってしまふ。

3月上旬、長野県ソフトボール協会総会に出席のため伊那に向かう。表彰では、役員功労のほか、全国大会等で活躍した小学生などの表彰は、今後の組織の活性化に結び付くとの強いメッセージで、今後の組織運営を考えた会議運営だった。会議をダメな方向に導き、組織を弱体化させる戦術としてアメリカの諜報機関OSS(現CIA)が、敵国の組織に潜入して行った「サポーターシユ・マ

ニユアル」を思い出した。「何事も、決められた手順を踏む」・「迅速な決断のための簡略した手続きを認めない」・「議事録や決定事項の細かい言い回しを巡って論議せよ」・「言葉尻をとらえよ」・「演説せよ、で

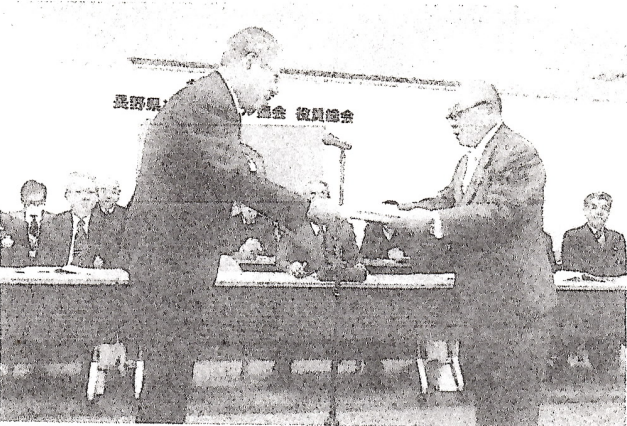
きるだけ頻繁に、長々話せ」・「大事な事は委員会にかけ、委員は5人以上にせよ」どこかでよく見られる光景だ。気持ちも新たに会議の在り方を考えたいものだ。

## 人間の都合で行われる 行為に疑問を持つ

染を確認したが、感染が拡大化する証拠は無く、過剰に心配しないよう呼び掛けた。私が役員住民課に在職していた時、国家公務員であった知人から「動物の愛護および管理に関する法律」を制定するおり、今では大切な家族の一員だ。そのためか、犬や猫の情報が気になって折、動物愛護法が昨年6月に改正された。犬や猫の販売業者には所有者の情報が登録されたマイク

に当たって、現場の意見を求められたことがある。翌年、昭和48年に制定され、動物虐待に対する考え方が大きく変わり、法律の重要性を体験する事があった。我が家も犬を飼って

生後56日以内の犬や猫は原則販売禁止と定められたが残念な事だが、知る人が限られている。人間の都合で、犬や猫が殺処分されない、一刻も早い殺処分ゼロを目指す、生涯を全うできる様な、環境を願うばかりだ。



長野県ソフトボール協会総会で功績表彰を受賞した白馬村・鎌倉宏さん。今後の更なる活躍を期待したい

(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)